

利用状況と見えてきた課題

安平町デマンドバスは4月末現在で482名が登録し、4月の1か月間で、延べ304名の方にご利用いただきました。

正式運行から2か月が経ち、ご利用者の皆さんから多くのご要望やご意見をいただいています。

皆さんからいただいた様々な声は、実施主体である安平町商工会・運行事業者（タクシー会社）・安平町役場で組織する「安平町デマンドバス運行協議会」や北海道運輸局など行政機関等で構成される『安平町地域公共交通会議』

（利用者登録・利用状況）

利用者登録数(4月末)	482人
追分地区	203人
安平地区	80人
早来地区	136人
遠浅地区	63人
利用者数(4月分)	304人
追分・安平市街地	159人
早来・遠浅市街地	145人

で協議し、できる限り利用者のニーズに沿った運行が行えるよう改善に努めてまいります。

これまでに寄せられた
ご意見

▼利用者登録を行える場所を増やすか、郵送での登録ができるようにしてもらいたい。

▽1時間前までの利用予約では不便。せめて30分前にしてもらいたい。

▼乗り合い運行で利用者の各自宅を回るとき、街中のバス停から自宅までの所要時間が1時間かかった。

▽利用運賃が高い。

▼従来の巡回バスや循環バスでは、自宅からバス停までが遠く、利用できなかったので、デマンドバスになってよかった。

公共交通維持のために

超高齢化社会の到来とともに自家用車などの交通手段を持たない方の増加が予想され、公共交通の役割は今後ますます大きくなると考えられます。

安平町には現在、運用を開始したデマンドバスのほか、鉄道、路線バス、民間タクシーの4種類の交通体系がありますが、いずれも採算が取れないと事業継続が困難となり、これらが無くなれば車を運転できないお年寄りや学生、運転免許証を持たない方などは、たちまち不便な生活を強いられてしまいます。

利用しないことで、今までの公共交通機関が無くなってしまおうという負の連鎖が生じないよう、町民の皆さんにおかれましては、デマンドバスに限らず、既存の公共交通体系全体の積極的なご利用についてご理解とご協力をお願いいたします。

町では、今後も広報紙やホームページを活用して、地域内の公共交通に関する情報を提供を行ってまいります。

皆さん、こんにちは。4月から採用され安平町へ移住してまいりました小林です。私の新しい視点で町を紹介していきたいと思います。今回は、デマンドバスに乗ってみました。



ふれあい体験記（5月20日） 〜デマンドバス編〜

①登録 デマンドバスの乗車に必要な登録を「安平町商工会早来本所」へ。身分証明書のみに利用者登録をすることができ「複雑な作業が無く登録しやすい」と感じました。「安平町デマンドバス登録」が発行されるまでの10分弱。それまでの間、始発便でなければ登録当日からの利用が可能などの利用方法に関する説明を聞きました。

②利用者との交流 目的地までの移動中の車内は、利用されている住民の方々によって日々の出来事の話や笑い声が飛び交い、賑やかで楽しい時間を過ごすことのできる貴重な場所となっております。自分自身も話に加わることができ楽しい移動となりました。デマンドバスについて、利用者の方は「到着時間は多少前後するけども、家の近い所まで来てくれて目的地の近くまで行けるのはありがたい」という声も聞くことができました。

③到着 今回の最終目的地は「鶴の湯温泉」。雨降りという天候でしたが、淡い色の桜が咲いていました。「今の時期は桜。夏を迎えると蓮の風景が広がり綺麗。」と鶴の湯支配人の奥村雅博さんが話してくださいました。季節によって異なる風景を楽しむことができるので、「季節を感じに再び訪れてみたい」という気持ちになりました。

④最後に： 「早来から追分へ」というような移動ができないことが惜しく感じましたが、「家から目的地まで乗り換えなく行けることがなによりも便利だな」と感じた初デマンドバスでした。